

<学習到達目標>

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【アニメーションの背景画から 風景を見つめ直して】 【中学美術の世界へようこそ】 ・オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中学校での授業の目的と内容、用具などについて理解する。 ◆美術は自己表現のための一つの方法であることを理解する。 <p>【鉛筆の魔法】 ・鉛筆による明暗 ・2つのかけ</p>	9	【デザインや工芸との出会い】 【自然の美しさから生まれた】
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆一本の鉛筆を使って、明るさ（線の粗密）により何段階にも分けられるようにする。 ◆絵の描き方にも色々あることを知る。ここでは主に輪郭線で表すものと明暗でとらえる方法を学ぶ。 <p>【試してみよう】 ・様々なデザインの表現技法</p>	10	【さあ何ができるかな】 ・組み立て立体パズル
6	<ul style="list-style-type: none"> ◆デザインの表現技法には様々なものがあり、知らずに使っているものや初めてのものなどがあることを知る。 ◆実際に試行錯誤しながら、技法を学ぶ。 <p>【MTの世界を進め】 ・写真とデザインの技法を使って表現する</p>	11	<ul style="list-style-type: none"> ◆平面的なパズルと立体的なパズルの両方を兼ね備えたパズルのデザインをする。 ◆電動糸のこ盤やヤスリの正しい使い方を理解し、材料のもつ美しさを生かしながら制作を刷る。
7	<ul style="list-style-type: none"> ◆前時の学習の応用として、実際にデザインの技法を効果的に用いて制作をしてみる。 ◆写真を使って自分を表し、デザインの技法と組み合わせることで、広がる世界や自分の思いを楽しみながら表現する。 	12	<ul style="list-style-type: none"> ◆木の作品は根気強く丁寧に仕上げることの大切さを学ぶ。
		1	【屏風、美のしかけ】 【色いろいろ】 ・色の性質を理解して
		2	<ul style="list-style-type: none"> ◆身の回りにある色にはどんなものがあるかをあげさせ、それらの色が持つ性質や特徴を知り、自分の生活の中に生かせるようにする。 ◆色の三原色、三要素、色相環などについて理解する。
		3	<p>【きれいな文字で…】 ・レタリングから平面構成へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆レタリングの基本について理解する（明朝体ゴシック体）。 ◆構成の要素を知り、美しい画面をつくる。 ◆ポスターカラーの使い方を身に付ける（水の量・平塗りなど）。 ◆色の学習の確認をしながら配色を考えさせる。

<評価資料>

知識・技能	作品 実技テスト 観察
思考・判断・表現	プリント（アイデア・スケッチ）ペーパーモデル 自己評価カード 鑑賞カード
主体的に学習に取り組む態度	自己評価カード プリント 作品 観察

<学習到達目標>

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【多彩な表現に挑むのはなぜだろう】 【あなたの美を見つけて】 ・オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2学年の美術の学習について理解する。 ◆作品を見て印象や感想について話し合う。 ◆作者の心情や表現意図について考え、まとめ る。 <p>【廊下が続く】 【浮世絵はすごい】 ・遠近法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆空間をより立体的に表現するために遠近法について学ぶ。 ◆遠近法には線遠近法と空気遠近法などがあり、その効果的な使い方について理解する。 ◆実際に室内空間に遠近法を用いて表現してみる。 <p>【扉が開くと】 ・版を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆現実の世界ではなく、自分の心の中の世界を想像（創造）して表現する。 ◆版画の学習で今までの凸版とは違った凹版の技法について知り、線や点の粗密による表現で自分のイメージを表してみる。 ◆ハッチングやクロスハッチングを用いて明暗による表現について理解し、制作をする。 <p>【抽象を体験しよう】 ・見えないものを表す</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆写実や具象的表現ではなく、心の中のイメージを表現する抽象的表現の存在をしり、実際に体験してみる。 	10	<p>【形を引き出す】 ・抽象彫刻をつくる</p>
5		11	<ul style="list-style-type: none"> ◆「火・風・水」、「喜・怒・哀・楽」という言葉からイメージを膨らませ、自分なりの表現ができるように工夫する。 ◆一枚の板を使い、自分のイメージに合わせて組み立ててみる。
6		12	
7		1	<p>【文化の出会いがもたらしたもの】 ・仏像入門</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日本の仏像の歴史や造形について学ぶ。 ◆人々の願いが込められた仏像のよさや美しさに触れる。
9		2	<p>【色いろ2】 【色彩の特徴を深く知る】 ・対比とトーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆色の世界の広がりや生活と色、自分と色の関わりなどについて考察する。 ◆1年生で学習したことを確認し、さらに対比やトーンについて理解し、実際に生かせるようにする。
		3	

<評価資料>

知識・技能	作品 実技テスト 観察
思考・判断・表現	プリント（アイデア・スケッチ）ペーパーモデル 自己評価カード 鑑賞カード
主体的に学習に取り組む態度	自己評価カード プリント 作品 観察

<学習到達目標>

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【時代を超えて美を探求する思い】 【仏像に宿る心】 【どこまで修復すべきか】 【仏像の種類/美術文化の継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション ◆3学年の美術の学習について理解する。 ◆作品を見て印象や感想について話し合う。 ◆作者の心情や表現意図について考え、まとめる。 	10	<p>【壁から抜け出せ】</p> <ul style="list-style-type: none"> レリーフで表す ◆限られた厚みの中に、構想（対象）を立体として表現する。
5	<p>【自分をじっと見つめて】 【今を生きる私へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自画像を描く 	11	<ul style="list-style-type: none"> ◆薄肉、中肉、高肉式等の彫りの技法について理解する。 ◆石膏による型どりの技法について理解する。 ◆より効果的な表現活動のために着彩なども利用できることを知る。
6	<ul style="list-style-type: none"> ◆今の自分を客観的に見つめ直すことにより、新しい自分や自分の知らなかった（気付いていなかった）部分について考える。 	12	
7	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分のよさを表すのに適した表現方法や技法を自ら選択し表してみる。 ◆お互いの作品を鑑賞することにより、色々な表現方法があることやそのよさについて知る。 	1	<p>【石を彫る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 篆刻をつくる
9	<p>【環境に造形する】 【イメージを追い求めて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ここちよい空間を考えて ◆現代彫刻の特徴として、環境との調和、環境を含めての作品が多くなっていることを知る。 ◆自由な発想が自分たちの生活をより豊かにするのだということを作品から感じ取る。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆「自分のしるし」を限られた範囲（枠）内で自分らしい表現ができるように工夫する。 ◆篆刻の歴史や技法などについて理解する。 ◆材料、用具の特徴、扱い方を正しく理解し、安全面も留意して制作する。
		3	

<評価資料>

知識・技能	作品 実技テスト 観察
思考・判断・表現	プリント（アイデア・スケッチ）ペーパーモデル 自己評価カード 鑑賞カード
主体的に学習に取り組む態度	自己評価カード プリント 作品 観察